学校だより

第７号
令和８年(2026 年) 10 月 23 日発行
市立札幌北翔支援学校

北翔の研究・研修について

研究部　中禰　真介

先日、中教審が次期学習指導要領に向けた審議まとめを公表しました。膨大な文量ですが、キーワードを拾ってみると、「深い学びの実装」、「多様性の包摂」、「実現可能性」とあります。抽象的な言葉が多いですが、本校の研究との関わりを考えてみたいと思います。

本校では、これまでも「深い学び」を大切にした授業づくりに取り組んできました。児童生徒が自らの課題に向き合い、他者と関わりながら学びを深めることを目指し、そのための指導形態や教材・教具の工夫を研究の重点としてきました。次期学習指導要領においても、子どもたちが学びの主体となり、自ら学びを調整しながら資質・能力を身に付けていくことが重要視されています。こうした方向性を踏まえると、これまで本校が進めてきた授業改善をさらに発展させ、児童生徒の学びを中心に授業を構成していくことが重要だと考えます。

そこで本校の研究では、主体的な学びを実現するため、「指導形態」と「教材・教具」の二つの視点から授業を見直しています。指導形態については、一斉指導、個別学習、ペアやグループでの学習などを、学習の目的に応じて組み合わせます。単に活動形態を変えるのではなく、「この学習形態によって、どのような学びを生み出すのか」を明確にします。教材・教具については、児童生徒の興味・関心を引き出すだけでなく、思考や対話を促すものとして捉えます。実際に操作したり、比較したり、試行錯誤したりすることを通して、児童生徒が自分なりの考えをもつことができる教材の開発・活用を進めます。特に大切にしたいのは、交流や活動そのものを目的とするのではなく、それによって児童生徒の考えがどのように変化し、深まったのかを見取ることです。そのため教師は、知識を一方的に伝えるだけではなく、児童生徒の思考を促す課題を設定し、学習状況を見取りながら、必要な場面で支援する役割を担います。こうした授業改善を通して、「自ら問いをもち、他者と関わりながら考え、自分の学びを調整できる児童生徒」の育成を目指しています。

これからも指導形態や教材・教具の工夫が、児童生徒の学びにどのような変化をもたらすのかを授業実践から検証し、次期学習指導要領を見据えた本校の授業づくりにつなげていきます。

11 月の主な行事

1	日		16	月	プール週間(中学部)
2	月	プール週間(高等部 A)、給食費口座振替日	17	火	
3	火	文化の日	18	水	サポート医巡回12～15 時
4	水		19	木	
5	木		20	金	チケット集計日
6	金	ハローミュージアム(小 5)午前日課 キタラファーストコンサート(小6)午前日課	21	土	
7	土		22	日	
8	日		23	月	勤労感謝の日
9	月	プール週間(高等部 B)、整形相談 教育実習(～20日)、芸術教室ワークショップ(13:30～)	24	火	プール週間(小学部 A)
10	火	芸術教室(2・3校時)	25	水	
11	水		26	木	口腔衛生摂食相談(12～15 時) 避難訓練週間(～30日)
12	木		27	金	
13	金	交流学習(中学部)、午前日課	28	土	
14	土		29	日	
15	日		30	月	プール週間(小学部B)、給食費口座振替日 スクールカウンセラー来校(10 時～12 時)

中学部見学旅行(千歳方面)を振り返って

中学部　田代　敏樹

令和8年度中学部見学旅行は、「Taste HOKKAIDO うまいの裏側探検ツアー」を主題として、千歳方面を中心にいろいろな場所を訪れ学習しました。初日は、新千歳空港で昼食をとったあと、空港内を見学したり、買い物学習をしたりしました。事前にタブレットなどを使った調査学習を行い、北海道の特産物や象徴する物を調べ、買いたいものを探しました。また、新千歳空港を実際に散策することで、たくさんの人たちが往来する空の玄関口としての役割を感じることができました。二日目は、キリンビール工場レストラン「ハウベ」さんで北海道料理のジンギスカンを堪能し、カルビー北海道工場を見学しました。工場見学では、身近な作物であるじゃがいもが加工され、それらが流通していく様子を実際に見ることが出来、その規模の大きさや緻密なシステムを感じることができました。交通や食糧自給など、改めて自分たちの身近な環境と社会のつながりを学ぶことができた旅行となりました。





高等部宿泊研修

高等部　小関　仁博

高等部は 9 月 29 日～30 日に小樽で宿泊研修を行いました。高等部の宿泊研修は、学級目標「HOKUれ！　まだ見ぬ景色を友達と作ろう」というテーマで臨みました。

初日は小樽水族館へ行きました。到着後、すぐにショーを観覧するためにイルカプールへ行きました。トレーナーの指示で跳んだり、ひれを振ったりする姿に驚かされました。昼食場所のホテルノイシュロス小樽では事前に決めていたランチメニューをオーシャンビューが広がる景色の中で楽しむことができました。宿泊場所のオーセントホテルでは、ポストカードを記入したり、オルゴール制作体験を真剣に取り組んだりと充実した時間を過ごすことができました。二日目は小樽の堺町通りを散策し、小樽のお菓子や限定商品などお土産として購入しました。天候にも恵まれ、それぞれが行きたいところで買いたいものを購入することができました。最後の昼食はオーセントホテルへ戻り、豪華な食事を満喫して2日間の宿泊学習が終了しました。高等部に進学し、初めての宿泊的行事ということで楽しみな気持ちと少し緊張した気持ちで当日を迎えたかと思いますが、たくさんの思い出を仲間と共有することができたと思います。朝早くから準備してくださった保護者の皆様、お世話になった施設の方々に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

秋を迎えて

栄養教諭　嵯峨　徳子

今年の夏は例年よりは過ごしやすく北海道らしい夏だったように思います。その分秋が長く感じられ、季節の移り変わりを楽しんでいます。

今年も 10 月に「給食で日本ぐるり旅(郷土料理編)」を企画して、毎週日本各地の郷土料理を給食で提供しています。ホームページに写真とともに載せていますので、御覧ください。

北海道は食の宝庫ですので、秋に給食で使う食材は道内産がほとんどで安定した価格で提供ができています。しかし、冬は本州産の野菜に頼らざるを得ない状況です。近年の地震、台風、大雨等の影響で国内産の青果物の流通量が減少しており、価格も上昇傾向にあります。特に今年の千葉県の大雨の影響は大きく、千葉産のにんじんや大根の供給が心配されます。千葉に限らず、天災にあった地域の方々が一日も早く復興し、平穏な生活を取り戻せるよう祈らずにはいられません。

教育実習のお知らせ

11 月 9 日(月)から 20 日(金)まで、小学部中・高ブロック各1名、中学部、高等部に各1名教育実習生が入ります。授業見学や研究授業に向けた教育実践に取り組みますので、御理解と御協力をよろしくお願いします。